

# 【農業生産の振興（担い手の育成・確保）】

## ～ 定年帰農者等営農講座開設 ～

### 1 地域の概要

石川地方は、福島県の南部に位置し、阿武隈川流域の平坦地と阿武隈山地に連なる山間地に区分される。年間を通じて気象条件が良好であり、首都圏にも近い地理的な条件を生かし、良質で安全・安心な農産物を基本にあぶくまブランドを展開している。

### 2 組織の概要

本講座の主催者である石川地方農業振興協議会は、石川地方の農業振興の推進役として、振興計画の策定と計画の戦略的課題の解決に向けて実践を進めている。構成員は、石川地方管内5町村(石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町)及び農業団体(J A, 県酪農協組合 石川郡畜産農業組合、農業共済組合、しゃくなげ酪農組合)、須賀川農業普及所、J A全農福島で構成されている。

### 3 取組みの契機、内容

石川地方の農業振興を目的に、平成16年に作成された石川地方農業振興計画「第2期第2次3ヵ年アグリプラン21」の第1の戦略的課題に位置付けられている「担い手への支援体制整備・強化と地域営農システムの構築」の取組課題に対応する一環として、「多様な担い手への支援」、「定年帰農者等への支援」の実践的取組みとして企画したものである。

### 4 取組み効果

平成20年度事業として5～6月かけて、第1回営農講座の受講生を募集したところ、17名(男性:10名、女性7名 年齢構成:51才～65才)が集まり、7月～10月の4ヶ月間、月2回のペースで計8回講座を開設することができた。受講生は大変出席率が良く、また「野菜栽培の指導が分かりやすく実際の栽培に役に立つので、継続して講座を開設してほしい」との意見をもらった。

さらに、平成21年度事業である第2回営農講座を平成20年12月に募集し、応募のあった13名を対象に1月から8月に計10回、平成21年の野菜作付けに併せた講座を開設している。

なお、講座修了者の中には農業への熱意を持ち、今後、就農を希望している人もいた。

平成20年度 営農講座(野菜基礎コース)			
回数	日時	講師	内容
第1回目	7月 8日(火) 18:30~20:30	JA全農福島 JA営農指導員 須賀川農業普及所	・開講式 ・野菜栽培における基礎知識 土づくりについて
第2回目	7月23日(水) 18:30~20:30	JA営農指導員	・作物の上手な育て方(Ⅰ) 病害虫の防除、適期作業
第3回目	8月 6日(水) 18:30~20:30	須賀川農業普及所	・葉菜類と秋野菜の育て方
第4回目	8月23日(土) 9:00~12:00	JA営農指導員 農家	・現地研修(露地) (モデル栽培圃場視察、受講者園地現地指導)
第5回目	9月 3日(水) 18:30~20:30	JA全農福島	・土壌診断と肥料の施肥法 (トマト、きゅうり、なす、アスパラガス、いんげん、葉菜類等)
第6回目	9月17日(水) 18:30~20:30	JA営農指導員	・作物の上手な育て方(Ⅱ)
第7回目	10月 4日(土) 9:00~12:00	JA営農指導員 農家	・現地研修(ハウス) (モデル栽培圃場視察、受講者園地現地指導)
第8回目	10月22日(水) 18:30~20:30	JA全農福島 JA営農指導員 須賀川農業普及所	・本年度の反省検討と次年度に向けて取組検討 ・修了式

## 5 国、地方公共団体等の施策支援との関わり

石川地方農業振興協議会は、県・町村と農業団体からなる組織で、須賀川農業普及所の指導および支援を受け営農講座を進めている。更に募集、現地研修会等では、町村の支援を受けており、地域の農業関係機関が一体となり進めている。

## 6 現在の問題点及び今後の改善方策

各年度の講座修了者については、就農に向けての継続支援が必要であることから、追加講座の開催や収入へ直結する直売所出荷への誘導を図っていく必要があると考えている。

また、季節に対応した実践的な栽培指導の講座を設けるなど、講座内容のさらなる充実を検討していく必要がある。

そして、なによりも地域が元気になる取組みの一環として本講座を位置付け、継続して取り組んでいきたい。



開 講 式



講座の実施状況